

関係者ヒアリング結果概要【自動車整備業】

1 日時

平成30年11月9日（金）13時30分～14時10分

2 対象者

一般社団法人日本自動車整備振興会

3 場所

東京都港区六本木6-10-1森タワー17階

4 対応者

法務省，国土交通省

5 内容

(1) 人手不足の現状について

- 全国に9万2千の工場があるが，中小企業がほとんどであり，高齢化も進んでいることから，その半数近くが人手不足だと言っている。
- 給与が安いと言われており，業界として色々と努力し平均給与も徐々に上がってはいるものの，少子化や車離れ等の理由から，整備士は不足している。
- 愛知県に代表される，自動車製造の盛んな地域では，自動車製造メーカーに人材が流れてしまい，全国レベルの求人や人の再配置等に対応しているものの，整備士が不足している。
- 地域差はあれど，全国的に整備士は不足している。

(2) 生産性向上のための取組について

- 儲かる業界にしたいという思いもあるため，生産性を上げるのが第一であると考えている。
- 女性でも重いタイヤの交換ができるようにするなどの，いわゆる省力化機器を安価で提供できるようにし，作業の省力化を行っている。
- 日本自動車整備商工組合連合会では，経営強化法等による生産性向上のための取組も行っている。

(3) 特定技能1号に求める業務及びその技能レベルについて

- 一般的な整備は自動車整備技能登録試験3級から行えることから，特定技能1号もそのレベルを求めることになるのではないかと。

(4) 業種に対する需要について

- 少子化によって人の数は減っているものの，地方では1人で複数台所有することもあるため，車の数はほぼ横ばい。
- 自動運転等により，車の性能に対する人の信頼は高まることが予想され，それに伴い，車を整備する整備業に対する需要は高まると考えられる。

(5) その他

- 整備士のイメージ向上を図るため，整備作業を見える化することや，明るい職場にすることも行っている。
- 不況時には，車の新規購入が減り，長く使おうとする傾向が強まることから，整備士の需要が高まる。